

市議会一般質問答弁事項進捗状況調書

議会年月 平成 29 年 3 月	議員名	熊谷 隆男		
	担当部	まちづくり推進部	担当課	生活安全課
標題	広域連携について			
質問事項	災害時の避難場所等において隣接自治体との共同利用などの連携を促進してはどうか。			
<p>【質問要旨】</p> <p>他の自治体と隣接する日吉町松野地区や明世町和合地区などにおいて、発災時の避難場所、被災後の避難所を本市内に限定することなく隣接自治体との共同利用等の連携を促進することによって二次災害の防止さらには安心と安全を担保することができると考える。早期の促進を積極的に図られることを要望する。</p>				
<p>【答弁要旨】</p> <p>市といたしましては、安全な避難行動をしていただくため、「近くに市の避難場所がない」、「危険箇所を通らないと市の避難場所に行くことができない」などといった地域におきまして、避難場所までの距離や安全な避難経路を踏まえ、避難場所の見直しや隣接自治体の避難場所への避難についても検討する必要があると考えております。</p> <p>また、避難生活が長期化する場合などにおいては、避難者の利便性や生活実態に応じて、隣接自治体の避難所で生活を送ることが、精神的、肉体的負担を軽減する場合もございます。</p> <p>こうした中、現在、岐阜県が県事務所単位で設置しております「広域避難調整会議」にて、市域を超えた広域的な避難場所についても検討しているところでございます。</p> <p>今後、隣接自治体と最善の連携方法を確認しながら、避難場所の共同利用を含め、体制の整備に努めていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>				
対応状況・進捗状況	対応済	(平成 29 年 9 月 28 日)	検討、対応中	実施不可
<p>最大の懸案事項としていた日吉町松野区については、地形や地域のつながり等から、隣接自治体の御嵩町に避難することも必要であると判断しました。そこで、5月26日、御嵩町に受け入れの可否について確認し、協力するとの回答を得ました。広域避難を進めるに当たっては、避難情報の発令基準や避難所開設タイミングの確認・共有、自治体間ホットラインの整備等が不可欠であることから、御嵩町職員と打合せを綿密に行い、連携体制を構築しております。また、松野区民に避難情報等を確実に伝達するため、まだ防災ラジオの貸与を受けていない自治会未加入世帯や事業所を個別に訪問・依頼するなど、情報伝達体制の整備も図りました。両自治体における連携体制や住民への伝達方法などを整備し、平成29年9月28日、御嵩町と越境避難に関する協定を締結しました。</p> <p>和合地区については、平成17年3月16日に締結しました「東海環状自動車道沿線都市災害時相互応援に関する協定」内で、被災者の受け入れについて確認、体制を構築しておりますので、別途越境避難に関する協定等の必要はないと考えております。</p>				